

令和3年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33005

学校名：札幌市立東栄中学校

「健やかな体」育成
プログラムのポイント

- ◎ 基礎的基本的な運動知識や技能の定着を図り、生涯を通じて日常生活の中で実践する知識や体力の基礎を獲得する。
- ◎ 自らの健康に関心をもち、心身の健康の保持増進を意識的に図ろうとする姿勢を豊かに育てる。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像	☆ 運動・健康に興味・関心を持ち、自らの課題を把握し、進んで運動に取り組み健康に生活する姿勢の育成。		
「健やかな体」成果や課題に関する	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 体育授業・部活動の充実 ○ 昼休みの体育館・グラウンド開放で運動量を確保する。 ○ 委員会と連携して、レク企画を実施する。(昼休み) ○ 雪かき汗かきチャレンジの推奨で冬の運動量を確保する。	【成果】 ・昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うような活動ができなかったが、感染防止対策を講じながら体育授業や部活動を行うことができた。	【課題】 □ 今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うような活動ができなかった。 □ 激しい呼吸を伴う活動ができなかったため、持久力の低下が懸念される。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 健康の保持増進や運動の必要性について指導の充実を図る。 ○ 健やかな体づくりへの思考力・判断力を高める。 ○ 食育や健康に関する関心を高めていく。	【成果】 ・全学年の保健授業で感染症の学習を行い、感染症の仕組みを知り、現在行っている感染防止対策の必要性についての理解がやや高まった。 ・食事の重要性についての理解が高まりつつある。	【課題】 □ 基本的生活習慣の確立に向けて、さらに家庭への啓発を工夫したり、保健体育や食育に関する特別活動時の指導をさらに工夫する必要がある。
今年度の具体的な取組（取組）	取組の最重点	【A】 体育授業の展開を工夫したり、体育的行事の積極的な実施や運動部活動の活性化を図りながら、体力・運動能力向上に努める。		
	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 1・2年生において、学年体育大会を取り入れ、集団で運動に親しむ機会を作り出す。 ○ 体育授業・部活動の充実。(授業内容の工夫、トレーニング運動の継続、実践力の向上) ○ 昼休みの体育館・グラウンド開放で運動量を確保する。(委員会による用具の貸し出しや呼びかけ)		
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 保健体育科の授業などを通じ、心身の健康の保持増進や運動の必要性について指導の充実を図る。 ○ 学習カードなどを活用して、健やかな体づくりへの思考力・判断力を高める。 ○ 栄養教諭や養護教諭と協力し、食育や健康に関する関心を高めていく。(ランチルーム給食、リザーブ給食、命の講話、図書館司書教諭との連携など)		
検証の方法	各種調査等の活用	○ 保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用かつ日常の実技テストや観察等 ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○ 学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○ 学校評議員会・学校関係者評価等の活用		